

# 笛吹市地域おこし協力隊 平成 29 年度活動報告

移住定住担当 木村早希

【活動期間】平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

【配属先】笛吹市役所 経営政策部 経営企画課 移住定住担当

【活動目標】笛吹市を知り、訪れ、住んでみたくなる流れの創出

## 【活動概要】

### ①笛吹市への移住を促進する活動

市役所の移住定住担当の下、市内への移住を促進するための活動を行った。

#### ・移住相談会、セミナーに出席

昨年度に引き続き、主に首都圏で行われる移住相談会や移住セミナーに出席。移住コンシェルジュの役割を担い、複数の自治体が集まるイベントではステージ上で市の魅力を紹介した。



### ②笛吹市の新しい特産品開発および任期終了後の起業に向けた活動

同期の八木隊員と共に、市内の農産物を加工し、特産品の開発を行った。

#### ・摘果桃の活用

未利用品である摘果した桃（栽培途中に間引かれた桃）を活用。

ピクルス風にアレンジし、ワインに合うおつまみを開発。

観光商工課が開催したイベントで、県外の旅行エージェントに試食していただいた。



←写真左：ぶどうの葉の肉巻き

写真右：摘果桃ピクルスのピンチョス

(クリームチーズと生ハム合わせたもの)

・マスタードの開発

笛吹市の新しい特産品としてマスタードの開発に着手。

市内産のからし菜の種と、未熟ぶどうを使った希少な国産マスタードを目指している。



・遊休農地、耕作放棄地の耕作

市内の使われていない畑を整備し、からし菜を植えた。



・「地域おこし協力隊ビジネスアワード」に採択

総務省が主催する「地域おこし協力隊ビジネスアワード」に採択された。

マスタードに係るビジネスプランが評価され、全国から選ばれた4つの優秀事例の一つとなった。



←東京で開催された事業報告会の様子

### ③情報発信活動

活動のPRや、市内外に笛吹市の魅力を発信した。

- ・「全国移住ナビ」「ニッポン移住・交流ナビ」、SNSの更新  
移住希望者向けのサイト「全国移住ナビ」「ニッポン移住・交流ナビ」の更新のほか、地域おこし協力隊としてFacebookページ、Twitter、ブログを更新中。



- ・マスメディアへの出演  
拡散力のあるマスメディアにも積極的に出演し、活動のPRを行った。  
新聞4社、テレビ1社、ラジオ1社、ウェブメディア1社に出演した。



- ・広報紙にコラム掲載  
多くの市民の方に活動を知っていただくため、広報紙へのコラム連載をスタートした。  
「地域おこし協力隊が〇〇したってよ！～活動報告～」というタイトルで毎月半ページ掲載中。



- ・市民まつりに出展

市民の方に直接活動をPRするため、市民まつりにブースを出展。摘果桃を使ったジャムも販売した。



#### ④その他の活動（ボランティア含む）

峡東地域創生連携会議、笛吹市地域振興促進助成事業、第二次笛吹市総合計画策定に係るワークショップ、第二次笛吹市総合計画審議会、市民まつり実行委員会、ワインツーリズムなどへの参加・運営に携わった。

#### 【所感】

2年目ということもあり、任期終了後を意識した活動を多く行った。同期隊員と意気投合し、6次産業化プロジェクトを始めたが、分からないことが多くあった。しかし関係機関や周囲の人々に助けていただいたおかげで、徐々に形になってきた。地域おこし協力隊を対象としたビジネスコンペにも採択され、隊員としては一定の成果があった1年だったと感じる。3年目には、お世話になった皆さんや地域に恩返しできるような結果を残したいと思う。

また移住定住業務は難しいことが多いが、自らがロールモデルとなり「笛吹市に住んだら、こんなに楽しいことがありました！」と心の底から言えるようになることが、PRにおいて一番重要だと感じた。自らの活動や生活の質を高めつつ、今後も移住定住業務に携わりたいと考える。

#### 【今後の目標】

- ・移住サポートを任期終了後も続けるための仕組みづくり
- ・マスタード事業の本格化
- ・PR活動の拡大
- ・任期終了後に向けた組織（会社など）の立ち上げ